

独自戦略2 持続的に稼げる企業創出による潟上産業活性化

施策10 創業支援強化による稼げる企業創出の推進

1 令和5年度 施策の方向性
 地域に根付いた新たなビジネスが生まれることは、地域を牽引する人材・企業及び雇用を生み出すことにつながるため、潟上産業の活性化に効果的である。そのため、当地域での創業者を誘致するために、独自の受入れ事業の展開や市行政と連携した創業者向け支援メニューの拡充等によって、新たに稼げる企業の創出を目指す。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

(1) 創業支援情報発信強化事業
 創業者をターゲットにして、商工会の支援メニューや創業体験談、行政の支援施策などを集約したサイトにより情報発信を行った。
■活動内容 ・創業関連支援施策の情報発信
 ・会員の声掲載の記事作成
 ・ホームページへの投稿作業
■達成状況 ・ホームページによる創業支援情報の発信：5回(5回)
 (内訳) 潟上市創業支援補助金に関する情報発信：1回
 「会員の声」での創業支援者の体験談発信：3回
 「かたがみ創業ゼミ2023」開催情報発信：1回
 ・創業サイト閲覧者による問合せ、相談件数：25件(10件)

(2) 創業支援施策拡充事業
 移住者や副業による創業を含め、当地域にあらゆるタイプの創業者が集うように、市行政の現行施策を検証し、緩和や拡充を含め新たな施策を提案した。
■活動内容 ・創業支援における課題及び改善要望等の情報を抽出、意見交換
■達成状況 ・市行政への創業支援施策の提案：4施策(3施策)

(3) 創業支援強化事業
 新たなビジネス創出による潟上産業活性化のため、創業者をターゲットとした事業を企画・実施し、当地域での創業を促進した。
■活動内容 ・創業希望者への県起業支援補助金、潟上市創業支援補助金の提案と申請支援
 ・かたがみ創業ゼミ講師とのカリキュラム検討
 ・かたがみ創業ゼミカリキュラムの一つとして先輩経営者との座談会を検討・実施
 ・マスコミ(秋田魁新報、マリマリ)、行政広報等を通じた開催情報発信
 ・終了後アンケートの実施
■達成状況 ・かたがみ創業ゼミの開催：1回(1回)
 ▽参加者：13名(内、ゼミ後の創業者：3名)
 ・創業者向け企業巡回ツアー(2名の先輩経営者と座談会)の開催：1回(1回)
 ・県や市等の創業補助金の申請支援件数：14件(5件)
 (内訳) 県起業支援補助金：申請2件
 潟上市創業支援補助金：申請12件
 ・創業者数：8件(5件)
 (内訳) 合同会社：2社(卸売業、小売業)
 個人事業者：6社(小売業、運送業、飲食サービス業、美容業等)

3 施策目標及び達成状況

施策目標	実績値(目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 創業サイト閲覧者による問合せ、相談件数 創業サイトをきっかけにした相談件数	12件 (10件)	25件 (10件)	(10件)	(15件)	(15件)
達成状況	達成	達成			
(2) 創業者数 創業計画策定や支援施策活用等により創業した件数	9件 (5件)	8件 (5件)	(7件)	(7件)	(9件)
達成状況	達成	達成			

4 施策目標に関する検証

(1) 創業サイト閲覧者による問合せ、相談件数
《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
 ・創業支援情報発信強化事業
 ホームページ内、創業支援ページが分かりやすく安心感を与える工夫ができていたこと。また、支援策及び創業者の経験談を掲示したことにより、相談件数が増えたこと。
《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
 ・創業支援情報発信強化事業
 多業種の創業事例が掲載できなかったこと。

(2) 創業者数
《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
 ・創業支援強化事業
 「かたがみ創業ゼミ」修了後も創業者間での情報交換等、横のつながりができ、お互いに刺激し合っていること。
《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
 ・創業支援強化事業
 「かたがみ創業ゼミ」に過年度参加者した方へのアプローチができておらず、支援につながらないこと。

5 次年度への改善点

(1) 創業支援情報発信強化事業
 多業種の創業事例掲載を行い、創業への意欲促進につなげる。

(2) 創業支援情報発信強化事業
 「かたがみ創業ゼミ」参加者へ創業支援情報発信の際にメールで案内を行うなどのアプローチを行い、潟上市内での創業につなげる。